

<活動内容>

1. スムーズな競技会準備と競技運営

- ・競技会運営の実施の、大会開催競技場の施設・用器具の点検及び大会当日の施設確認を行う。他部署と多くのコミュニケーションをとり、共通理解のもと、競技場所の決定、用器具の設置及び撤収を行い、円滑な競技進行を目指す。
- ・昨年度途中で、投擲器具の持ち込みに関する規定が変更となった。それに対する体制づくりを構築し、競技運営に支障のないようにする。
- ・トラック競技で器具を使用する競技は設置・撤収に時間がかかるので、タイムテーブル作成時に確認をし、円滑な競技運営ができるよう心掛ける。
- ・WRk大会の状況を確認し、競技進行に支障のないようにする。
- ・主管する道路競走の競技会では、コース確認・備品の確認の徹底、他審判員への周知を図る。

2. 積極的な研修とルール熟知

- ・次年度もルールの修正があることから、審判講習会などに積極的に参加し、また周囲に参加を呼びかけ、審判員全体の意思統一ができた上での競技運営ができるよう心掛ける。

3. 県内各競技場の施設、用器具の管理徹底

- ・継続して公認となった競技場やロードコースの管理者、公式計測員らと連絡を密にして、状況の確認・改善指導・問題点の解決に取り組む。特に非公認扱いとなっている競技場とは、事故などが起きないように連絡を取り合う。